

年



病院理念

地域に望まれる理想の医療を目指して

基本方針

1. 私たちは患者さんの立場に立ち、安心で満足できる医療を提供します。
1. 私たちは患者さんに心から信頼される医療人を育成します。
1. 私たちは地域に密着した病院としての機能向上を図ります。

こばたけ



医療法人
(株)玄同会

小島病院



2019 年頭の

明けまして
おめでとうございます。

病院長 小畠 敬太郎



昨年末には約3年がかりで行っていた院内の改装と、給食部門を含む北館増築工事がほぼ完了いたしました。昨年初夏には院内託児所の新築移転をしており、これら一連の事業により病院の機能性の更なる改善が図られると同時に、職員の福利厚生に関わるスペースの拡充を図ることが出来ました。「味にこだわった病院給食を提供する」をモットーに院内調理を継続することも出来ました。

昨年は甲状腺外科専門医である和久利彦医師が着任し、一般外科のみならず内科と協力して総合診療体制が充実いたしました。

当院は標榜診療科のもと外来診療の充実と、地域包括ケア病棟と医療療養病棟の二つの病棟の特性を生かした入院医療を提供しています。内科・泌尿器科・外科それぞれの外来からの入院、高度急性期病院から急性期治療を終えた方の転入院の受け入れ、在宅あるいは

施設等に入所中に肺炎や心不全などの急性疾患で診療所の先生方から紹介いただいた方、回復期のリハビリや、神経難病で長期療養が必要な方々などの入院を受け入れています。この地域の皆様が必要な医療や介護を受けながら、人生を最期までこの地で過ごすことが出来るという仕組み（地域包括ケアシステム）の実践が少しずつ軌道に乗ってきているという手ごたえを感じています。

現在、医師や看護師といった直接医療に携わる職種だけでなく、訪問看護師・社会福祉士・ケアマネジャーなどのスタッフを充実させて、入院・退院の支援や在宅復帰支援をさらに強化してまいります。このように入院治療から在宅療養まで切れ目なく、小回りの利くサービス提供に鋭意努力してまいります。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。



のごあいさつ



謹んで新年のご挨拶を
申し上げます。

看護部長 梶谷 一恵



近年自然災害が頻繁に発生し、昨年7月には西日本が豪雨災害に見舞われ膨大な被害を受けました。当院周辺地区も土砂崩れや水浸被害などがいたるところで発生し、しばらくは日常生活にも影響が続いておりました。幸いにも当院の建物は大きな被害がなく、診療を継続することができました。しかし、県内でもいまだ多くの方が復興作業に尽力されております。この場を借りて、被災された方々に心よりお悔やみとお見舞いを申し上げます。

さて、当院では“小粒でも大きな支え、続く安心”をキャッチフレーズに、地域医療に取り組んでおります。昨年度より、外科の和久先生が仲間に加わり、甲状腺疾患の専門医療提供もできるようになりました。

看護部では、看護要員の増員を図るとともに、看護の質の向上と地域医療を担う次世代人材の育成に力を入れています。

しかし、少子高齢化に伴う医療・介護人材の不足には抗うことができず、非常な危機感を持っております。国は外国人労働者の積極的導入を進めていますが、特に高齢者介護を中心とし、言葉の壁が大きな課題のひとつではないでしょうか。当法人事業においても、医療・介護人材の安定した確保には、重点的かつ長期戦で対応していくことになるかと想定しております。

急激に変化する社会情勢の中で、当院が地域の皆様に望まれる医療を提供できる病院として、地域の環境や動向を常にリサーチしながら、今後も地域の現状に即したサービス提供が行えるよう、切磋琢磨努力してまいります。お気付きの点は叱責、ご指導賜りますようお願い申し上げますとともに、皆さまの健康とご多幸をお祈り致しております。



ご意見箱について

患者さまのご意見をいただくための投書箱が、**外来待合スペース、各病棟の談話室、サニールームの院内計5ヶ所**に設置されています。また、過去の投書内容、病院からの御礼や回答も閲覧できるようファイルにもまとめてありますのでご覧ください。

少し時間がかかることもありますが、**お答えは必ず紙に書いて貼り出します。**また、すぐに実行できることがあれば実行します。みなさまのご意見をもとに、より良い病院になるよう改善を続けていきます。病院に対するご要望や改善提案、またご不満等ございましたらスタッフにお声かけいただくか、この「みなさまの声」に書いてお教えください。

当院は主として
次の疾患を専門としています

内科

消化器系の病気(胃腸科)、神経系の病気(脳神経内科)および糖尿病内科を中心とした、内科一般。循環器、呼吸器の疾患は専門外来を行っています。

外科

一般的な外科の初期治療、腹部疾患の総合的診療、甲状腺疾患

泌尿器科

尿路性器悪性腫瘍、尿失禁や排尿障害、尿路結石

眼科

白内障、緑内障、眼底疾患、コンタクトレンズ

リハビリテーション科

脳血管障害、神経及び筋疾患、骨関節疾患などのリハビリテーション

担当医については電話または受付でお尋ねください。

当院では
人間ドックも行っております

- 毎年の誕生日健診をおすすめします ●
- 日帰りドック(火・木・金・土)
- 一泊ドック(月・火)または(水・木)または(金・土)

などお気軽にご相談ください。

●外来診療担当表

科目		曜日	月			火			水			木			金			土		
		午前	午後	夕診	午前	午後	夕診	午前	午後	夕診	午前	午後	夕診	午前	午後	夕診	午前	午後	夕診	
内 科	1診	院長		院長	院長			院長		院長	下地 (呼)		下地 (呼)	原直 (神)		原直 (神)	院長		楠/石井 (消)	
	2診	原直※1			原		原	横濱 (循)		横濱 (循)	原		野村 (消)	中村※2 (糖)	中村※2 (糖)	野村 (消)	原		原	
	3診	小島廉		小島廉	伏見※2 (糖)	伏見※2 (糖)		小島廉		小島廉	小島廉			小島廉			原直 (第2、4)			
外 科	5診	和久		和久	中井		中井	和久		和久	中井		※4	和久		※4	中井		中井	
内視鏡診察室(予約)		原	原		森	森					野村	野村		野村	野村		楠/石井	楠/石井		
泌尿器科	1 診	大口			大口			大口			大口		大口	柴田			大口			
	2 診	非常勤 医師		非常勤 医師	柴田			柴田		柴田	柴田			志熊		志熊	柴田			
眼 科					瀧川		瀧川	瀧川		瀧川	瀧川		瀧川	瀧川		瀧川	瀧川		瀧川	

診療科目： 内科・外科・泌尿器科・眼科・神経内科・消化器内科・循環器内科・リハビリテーション科

予約制による内視鏡他の検査外来／月・火・木・金・土

●外来担当医

内科・神経内科	小島 敬太郎 (院長)	内科・消化器内科	石井 学	内科・糖尿病	中村 淑子	泌尿器科	大口 泰助 (部長)
内科・神経内科	原 直之	内科・消化器内科	森 豪	内科・糖尿病	伏見 佳朗	泌尿器科	柴田 昌紀
内科・消化器内科	原 睦展 (診療部長)	内科・循環器	小島 廉平 (副院長)	外科・総合診療	中井 肇 (副院長・外科部長)	泌尿器科	非常勤医師
内科・消化器内科	野村 元宣	内科・循環器	横濱 ふみ	外科・総合診療	和久 利彦 (第2外科部長)	泌尿器科	志熊 紘行
内科・消化器内科	楠 裕明	内科・呼吸器	下地 清史	眼科	瀧川 泰 (部長)		

- ※1 第1、3、5月曜日の9:00～12:00までの診療となります。
- ※2 9:00～15:00までの診療となります。
- ※3 【内科】午前 初診 11:00まで 再診 (予約なし) 11:30まで
午後 初診 17:00まで 再診 17:30まで
【内科以外の診療科】午前 初診・再診 (予約なし) 11:30まで
午後 初診・再診 17:30まで
- ※4 手術がない場合は、外科・総合診療科で受付できることがありますのでお問い合わせください。
- 外科・泌尿器科は手術の都合で午後の外来診療が変更になることがあります。
- 学会などへ出席のため、休診または担当医が変更になることがあります。
- 診療予約変更は午後から電話等にてお願い申し上げます。

- 受付時間／ ●午前 8:15～午後 5:30 ※3
- 診療時間／ ●午前 9:00～12:00 (全科)
●午後 3:00～6:00 (眼科)
●午後 4:30～6:00 (その他の診療科)
- 休 診 日／ ●日曜日・祝日 (全科)
●火・土曜日午後 (泌尿器科) ●月曜日 (眼科)
- 面会時間／ ●平日／午後1:00～7:00 ●日・祝日／午前10:00～午後7:00

こ ば た け

医療法人 小島病院

〒720-1142 広島県福山市駅家町上山守203
TEL (084) 976-1351(代) FAX (084) 976-6309
<https://www.kobatake.or.jp>

